

## 平成 26 年度第 14 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

身近な生きものを観察しよう！！－生き物を科学しようパート 2－

を実施しました。

開催日時：平成 27 年 3 月 7 日（土）

開催場所：茨城県霞ヶ浦環境科学センター野外施設および小展示室

参加者：9 名

今回の観察会は身近な水辺の生きものを観察しようとして、センター野外施設の水辺に生息する生き物を観察しました。「水」はすべての生き物になくはないもので、小さな水辺にもいろいろな生き物が生息しています。

まずは、センター野外の「中池」で、生き物の採集からスタートしました。短い時間にもかかわらず、いろいろな種類のヤゴ、カゲロウの幼虫、ヌマエビ、モノアラガイ、マツモムシなどたくさんの生き物が見つかりました。はじめはヤゴを怖がっていた子も、だんだん慣れていきました。また、知識豊富な小学生もいて、参加者にいろいろな知識を教えてくださいました。続いて、さらに小さな水の溜まりでミジンコを採取したり、いきもののにわのビオトープでニホンアカガエルのオタマジャクシを観察したり、午後の実験に使うメダカを採取したりしました。

多くの水辺の生き物を採集したところで、それらの生き物をルーペやダブルスコープで観察したり、ヤゴを分類したりしました。小さく見逃しやすいこれらの生き物も拡大してみるといろいろな発見があり、大いに楽しめました。

昼食のあとは捕まえたミジンコやメダカを観察・実験しました。ミジンコがまさに子を産む瞬間に大興奮したり、メダカの実験ではオス・メスの見分け方から、流れに向かって泳ぐ様子を観察したり、楽しく学ぶことができました。

今年度の最後の自然観察会でしたが、来年度の自然観察会でもいろいろな視点から霞ヶ浦の自然や環境に接するプログラムを企画したいと考えております。

参加者のみなさん、パートナーのみなさんありがとうございました。



環境活動推進課 福井正人



中池で水辺の生き物を採集します。



ミジンコを採取しています。



ビオトープでメダカを観察。



ヤゴの分類中です。



ミジンコの観察。



メダカの実験です。

来月からの新年度霞ヶ浦自然観察会もよろしく  
お願い致します。